

取扱説明書

カービングキング



目次

1. はじめに	8
1.1 カービングキングの特長	8
1.2 構成	8
1.3 ご使用にあたって	8
2. 安全性	9
2.1 本機の設置と接続	9
2.2 電源	9
3. 使い方	9
3.1 検査作業前に	9
3.2 起動	9
3.3 屈曲部にグリスを塗布する	10
3.4 スキッドの装着	10
3.5 収納スリーブ	10
3.6 コントロールパネル	11
3.7 発信器の使用	11
3.8 距離計の表示	12
3.9 ユーザーメニュー	12
3.10 ディスプレイ付き DVR(デジタルビデオレコーダー)	13
3.11 写真・動画の再生	14
3.12 ACアダプタの使用	15
3.13 ビデオ出力の使用	16
3.14 LED の表示	17
4. 点検修理	18
4.1 トラブルシューティング	18
5. 仕様	19

安全に正しくお使いいただくために

- 製品を使用する前に必ずお読みください。
- 注意事項を守って製品をご使用ください。
- この取扱説明書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に保管してください。

この取扱い説明書では、製品を安全にお使いいただくために、次のマークを使用して説明しています。

 警告 注意	この表示事項を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、又は傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示しています。
--	---

誤った取扱いによるお客様への危害や財産への損害を防止するため、次のマークを使用して説明しています。

	禁止 禁止事項を示しています。		けが注意 けがを負う可能性が想定されることを示しています。
	発火注意 発煙または発火の可能性が想定されることを示しています。		電源プラグを抜く 電源ケーブル、ACアダプタのプラグを抜くように指示するものです。
	感電注意 感電の可能性が想定されることを示しています。		アース線を接続する アース線を必ず接続するように指示するものです。

一般注意事項

 警告	
	●万一、異常な臭いがしたり、過熱、発煙した場合は、ただちに電源スイッチを切り、電源コンセントからプラグをぬくこと →そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。
	●画面が映らない場合は、ただちに電源スイッチを切り、電源コンセントからプラグをぬくこと →そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。
	●万一、内部に水が入った場合は、ただちに電源スイッチを切り、電源コンセントからプラグをぬくこと →そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	●万一、異物が本機の内部に入った場合は、ただちに電源スイッチを切り、電源コンセントからプラグをぬくこと →そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	●万一、本機を落したり、筐体を破損した場合は、電源スイッチを切り、電源コンセントからプラグをぬくこと →そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

警告



- お客様ご自身で本機を分解・修理・改造はしないこと
→故障・誤動作、事故の原因となります。修理は販売元にご依頼ください。



- 指定電圧以外は使用しないこと
→火災・感電の原因となります。



- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないこと
→落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



- 濡れた手で、電源ケーブル、ACアダプタのプラグを抜き差ししないこと
→電源ケーブル、ACアダプタがコンセントに接続されているときに、濡れた手で本体に触ると、感電の原因となります。



- 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないこと
→こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重い物を乗せたり、加熱したりしないこと
→電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



- 引火性のある場所では使用しないこと
→電気接点のスパーク等により、爆発、引火の原因となります。



- 雷が鳴りだしたら、電源プラグをコンセントから抜くこと
→感電の原因となります。



- バッテリーを分解したり、改造したりしないこと
→発熱、破裂、発火の原因となります。



- バッテリーを火の側、ストーブなどの高温の場所や直射日光の強いところ、炎天下の車内で使用したり放置しないこと
→発熱、破裂、発火の原因となります。また、バッテリーの性能や寿命を低下させる原因となります。



- バッテリーの使用、充電中、保管時に異臭、発熱を感じたり、変色、変形、その他の異常に気が付いた時は直ちに使用を中止し、販売店または当社にご連絡ください。



- 充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。
→発熱、破裂、発火の原因となります。

注意



- お手入れの際や長時間ご使用ならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜くこと
→火災・感電の原因となります。



- 機器を接続する場合、電源スイッチが切れていることを確認すること
→感電の原因となります。



- 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らないこと
→コードが破損し、火災・感電の原因となります。



- 本機や電源コードを熱器具に近づけないこと
→スイッチや電源コードの被覆がとけて、火災、感電の原因となります。

注意



- お手入れの際は、ベンジン、シンナーなどは使用しないこと
→塗料や表示が剥がれたり、変質したりする原因となります。



- カメラのレンズ側を太陽やランプなどに向けないこと
→直射光が入ると CCD を損傷する場合があります。



- ディスプレイカバーの開閉は乱暴に行わないこと
→機器の破損の原因になるほか、ディスプレイカバーに手を挟みけがの原因となります。

取扱上の注意

1. カメラヘッドのレンズ側を、太陽や強烈なライトなどに絶対に向けないでください。直射光が入ると撮影素子をいためることになります。
2. 本装置を使用できる温度範囲は、-10℃から+45℃です。この範囲を超えてご使用にならないようお願いいたします。
3. 液晶モニタは低温で使用すると暗くなりますが、異常ではありません。しばらくすると元の明るさになります。
4. 本装置のカメラヘッドは防水構造ですが、本体及び AC アダプタは防水構造になっておりません。雨天時の屋外では使用しないでください。また、ケーブルについた水滴はふき取ってください。
5. 管内でカメラヘッドが引っ掛かった場合、無理に引っ張らずカメラケーブルを回しながら引き抜いてください。無理に引っ張ると故障の原因になります。
6. 本装置は、精密機器のため直射日光があたる車内等には放置しないでください。変形、故障の原因となります。
7. 付属の AC アダプタをご使用ください。それ以外の電源を使用されますと、故障や発熱の原因となります。

免責事項と用途制限

免責事項

- 火災、地震、第三者による行為、その他事故、使用者の故意または過失、誤使用その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不可から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化・消失など）、事故（人命に関わる事故、火災、環境汚染等）に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品を使用したことにより、第三者の工業所有権等に関わる問題が発生した場合、弊社製品の構造製法に直接関わるもの以外につきましては、弊社は一切責任を負いません。
- 機器使用書、取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 機器使用書、取扱説明書に記載されている以外の使い方によって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 弊社が関与しない接続機器、ソフトウェア等との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- お客様ご自身または権限のない第三者が修理・改造を行った場合に生じた損害に関しては、弊社は一切責任を負いません。
- 製品に関し、いかなる場合も弊社の費用負担は、本製品の個品価格以内とします。
- 本製品の機器仕様書、取扱説明書に記載のない項目につきましては、保証対象外とします。

用途制限

- 次に示すような条件や環境で使用する場合は、安全対策へのご配慮を頂くとともに、弊社にご連絡くださるようお願い致します。
 1. 明記されている仕様以外の条件や環境での使用
 2. 人や財産に大きな影響が予想され、特に安全が要求される用途への使用
- 本製品は、使用される条件が多様なため、その装置・機器への適合性の決定は装置・機器の設計者または仕様を決定する人が、必要に応じて分析やテストを行ってから決定してください。この装置・機器の性能・安全性は、装置・機器への適合性を決定されたお客様において保証してください。
- 本製品を人の命に直接かかわる装置（※1）等を含むシステムに使用しないでください。

※1：人の生命に直接かかわる装置等とは次のものを指します。

 - ・生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器
 - ・有毒ガスなど気体の排出装置及び排煙装置
 - ・消防法、建築基準法などの各種法令を遵守して設置することが義務付けられている装置
- 本製品を人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム（※2）に使用される場合は、通常故障に対するシステム上の安全設計や使用上の注意の遵守徹底をお願い致します。これらを怠って発生した人身事故、火災事故、社会的な損害等において弊社ではいかなる責任も負いかねます。

※2：人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置とは次のものを指します。

 - ・集団輸送システムの運行制御、及び航空管制制御システム
 - ・原子力発電所などの主機制御システム、原子力施設の安全保護系システム、その他安全上重要な系統及びシステム。

保証について

本製品の保証期間は、納入後 1 年間といたします。

保証期間内でも、次の場合には有償修理となります。

- ・弊社または、弊社指定の業者以外による、保守および修理による故障や損傷。
- ・お買い上げ後の落下、輸送等による故障および損傷。
- ・弊社が納入した製品以外の他社製品が原因で、弊社の製品が受けた故障や損傷。
- ・弊社指定純正部品以外の補修部品使用による、保守や修理などによる故障や損傷。
- ・製品に付属の取扱説明書に記載されている、注意事項や操作方法等を守らなかった結果による故障や損傷。
- ・製品に付属の取扱説明書に記載されている電源や設置環境等、本製品の使用条件を逸脱した周囲条件による故障や損傷。
- ・火災、天災地変(地震、風水害、落雷等)、塩害、ガス害、異常電圧による故障および損傷。
- ・消耗部品および寿命部品の修理・交換。

摩耗が激しいカメラヘッド及びカメラケーブル等につきましては、消耗品として取り扱わせて頂いている関係上、保証期間内であっても交換は有償となりますのでご了承ください。

1. はじめに

1.1 カービングキングの特長

Φ30mm からΦ100mm の管の検査に適しています。柔軟に曲げることができるので、Φ30mm の曲管でも押し込むことができます。

ご注意： 管路状況により実際の通過性能に違いがある場合があります。

1.2 構成

機材の構成は、以下の通りです。

- ①TVカメラシステム「カービングキング」
- ②収納スリーブ
- ③φ 28mmスキッド
- ④SDカードリーダー (USB)
- ⑤SDカードリーダー (microUSB・iOS
デバイス対応)
- ⑥ACアダプタ
- ⑦シリコングリス
- ⑧取扱説明書
- ⑨SDHCカード (8GB)



1.3 ご使用にあたって

すべてのシステムコンポーネントは高品質の材料で製造され、高い精度で組み立てられています。長くご使用いただくためには、点検修理を行ってください。この取扱説明書では、以下について説明しています。

- 安全性
- 使い方
- 点検修理
- 仕様

2. 安全性

2.1 本機の設置と接続

本機の電源を入れる前に、次のことに留意してください。

- 本機は屋内の乾燥した場所に水平な状態で設置して下さい。
- 本機を転倒したり落としたりしないように設置して下さい。
- ドラムの重量を利用したブレーキパッドを使用しているため、水平な状態で使用して下さい。

2.2 電源

本機は AC 100V の電源または内蔵の充電式バッテリーで動作します。本機は出来るだけ屋内の乾燥した場所で使用してください。

※ご注意 付属の AC アダプタ以外の AC アダプタは使用しないで下さい。故障の原因になります。

発電機を使用する場合は、100V の電圧を継続的に供給できるものを使用してください。それ以外の発電機は決して使用しないでください。

3. 使い方

3.1 検査作業前に

管内検査作業をする前に、できる限り管を洗浄してください。カメラで管の詰まりを除去すると故障の原因になります。

3.2 起動

- ①ディスプレイカバーを開きます。
- ②内蔵バッテリーを使用しない場合は、AC アダプタをコンセントに接続します。
- ③パネル前面の赤いオン/オフボタンを押して電源を入ると、LED が点灯します。
- ④液晶ディスプレイが立ち上がり、LED が緑色に変わります。
- ⑤パネル前面の黄色のボタンでカメラヘッド照明の明るさを調整します。



3.3 屈曲部にグリスを塗布する

カメラヘッド後部の屈曲部は特殊ゴムで柔軟に曲がるように精巧に作られており、管路の検査を簡単にします。この部分に付属のシリコングリスを塗布してください。曲管部をスムーズに通過させることが出来るようになります。

※ 錆びた鉄管を調査する場合は塩ビ管の場合より挿入性が低下します。その場合は特殊ゴム部の保護の為、通常より多めにグリスを塗って下さい。



3.4 スキッドの装着

スキッド中央にあるOリングを取り外し、二つ割りになったスキッドをカメラヘッドに挟み込み、再度Oリングをスキッドの溝に取り付けます。



3.5 収納スリーブ

カメラを使用していない時は、収納スリーブに必ず保管してください。ドラムの中に収納しているときに、スリーブを使用することで、ゴム製の屈曲部を真っ直ぐに保ち、巻きぐせを防ぎます。検査を開始するときに、スリーブをドラムから取り出します。カメラをスリーブから取り出して、スリーブをリールの右側のホルダーに収めておきます。点検が終わったら、カメラをスリーブに戻し、全体をドラムに収めます。



3.6 コントロールパネル

コントロールパネルは以下の様な外観です。



3.7 発信器の使用

カービングキングのカメラヘッドには 512 Hz の発信器が内蔵されています。受信機を使えば、開削せずに、カメラの位置を特定できます。発信器はコントロールパネルの発信器ボタンを押すと起動します。発信器として作動している間は、カメラの画像にノイズが入ります。ノイズは録画映像にも記録されますので発信器使用中は調査を行わないでください。発信器を切れば消えます。発信器使用中はライトの明るさが半減します。発信器の作動中は、ライトの明るさを調整することはできません。

発信器のボタンをもう一度押すと、発信器は止まります。発信器の動作を止めるとライトの明るさは元の設定に戻ります。

3.8 距離計の表示

距離計を表示するにはメインメニューから Meter counter on/off で表示/非表示できます。照明ボタンを同時に押すと距離計がゼロにリセットされます。

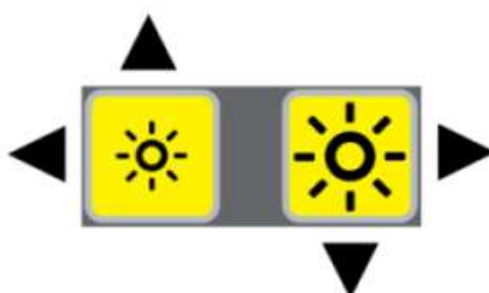
3.9 ユーザーメニュー

メインメニューを起動するには、メニューが表示されるまで発信器ボタンを約 2 秒押し続けます。



1. Text writer (タイトルを入力します。) ※アルファベットのみ
2. Text writer on/off (タイトルを表示します。)
3. Time/date settings (時間日時を設定します。)
4. Time/date on/off (時間日時を表示します。)
5. Meter counter units (距離計の単位を選びます。)
6. Meter counter on/off (距離計を表示します。)
7. Language (言語選択します。)
8. System (ケーブルの長さを設定します。)
9. Back (戻ります。)

2つの照明ボタンを使用してメニューを操作します。メインまたはサブメニューに応じて、上下左右に移動することができます。



発信器ボタンを使用して、選択を確定します。

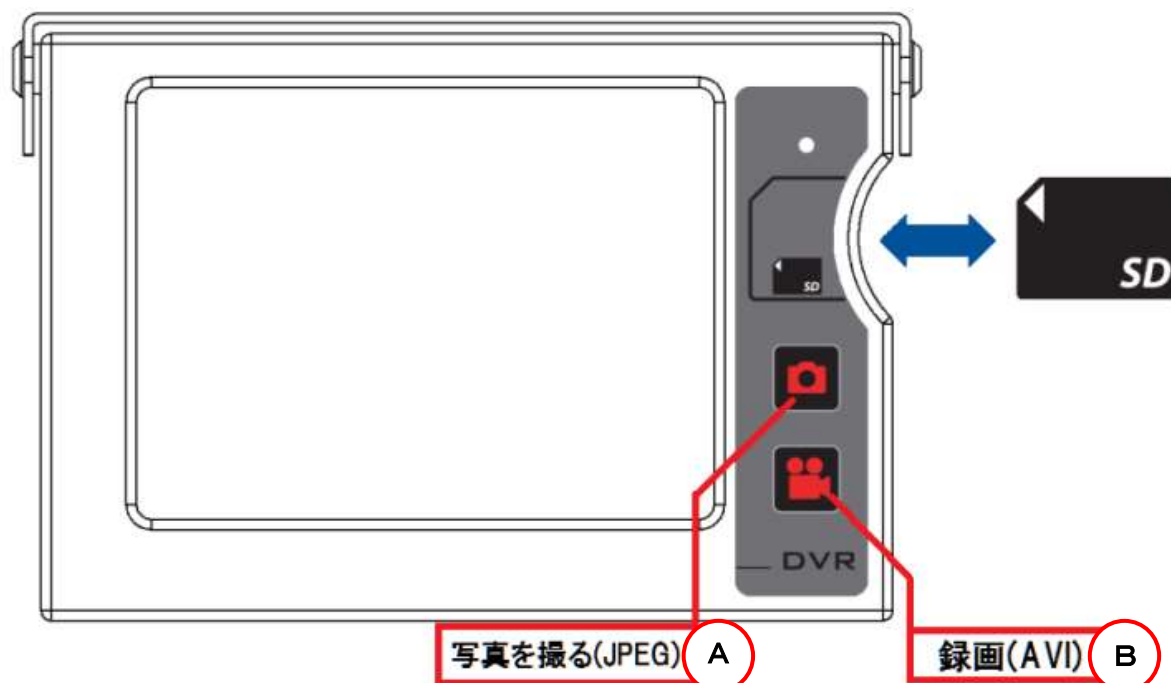


メニューを終了するには、「9. Back (戻る)」を選択します。

メニューを使用してテキストを入力し、それを表示するかどうかを選択できます。必要に応じて、日時を設定出来、またそれを画面に表示することもできます。距離計は、単位をメートルまたはフィートから選択できます。また、この情報を表示するかどうかを選択することもできます。

3.10 ディスプレイ付き DVR(デジタルビデオレコーダー)

DVR の操作パネルには、次の様な機能があります。



写真を撮る

- ①SD カードを DVR 右面のスロットに差し込み、画面左上に SD マークが表示されたことを確認します。
- ②DVR 右側のAボタンを 1 回押すと写真を 1 枚撮影します。

録画する

- ①SD カードを DVR 右面のスロットに差し込み、画面左上に SD マークが表示されたことを確認します。
- ②DVR 右側のBボタンを 1 回押すと録画を開始します。※録画中は画面左上に「REC」と表示されます。
- ③再度Bボタンを 1 回押すと録画を終了します。

注意:

- 写真撮影機能と録画機能は同時に使用出来ません。
- SD カードは挿入部に汚れや湿気がないことを確認してから挿入して下さい。
- 最大録画時間はファイルごとに 30 分です。

3.11 写真・動画の再生

本機には再生機能が備わっていない為、写真・動画撮影後に確認する方法の一例を紹介します。

手順 1: スマートフォンで確認の場合

- ①付属の SD カードリーダー (microUSB・iOS デバイス対応) とお手持ちのスマートフォンを接続します。
- ②付属の SD カードリーダーのパッケージ裏面の案内 (右図) に従って、スマートフォンに閲覧ソフトをインストールします。(初回使用時のみ)
- ③撮影・録画した SD カードを取り出し、SD カードリーダーに差し込みます。
- ④閲覧ソフトを起動し、ファイルメニューのアイコンを選択します。
- ⑤ファイルメニューが表示されたら、対象ファイルを選択し、再生します。



手順 2: パソコンで確認の場合

- ①付属の SD カードリーダー (USB) とお手持ちのパソコンを接続します。
- ②撮影・録画した SD カードを取り出し、SD カードリーダーに差し込みます。
- ③ファイルメニューが表示されたら、対象ファイルを選択し、再生します。

付属されている SD カードは SDHC カード、容量は 8GB です。

カービングキングが対応しているのは **SD/SDHC カード 32GB 迄** です。カービングキングで保存された写真・動画は CAM00000～CAM99999 までの番号で保存されます。

注意: 番号が CAM99999 まで達すると、以降のデータが CAM00000 に戻り 1 番最初のデータに上書きし、データが消去されてしまいますので CAM99999 に達する前に SD カードからデータの移動を行ってください。また、同じ SD/SDHC カードで別のカービングキングの写真・動画を保存するとデータが上書きされ、消去されてしまいますので**複数のカービングキングでの同じ SD/SDHC カードの併用はしないでください。**

	保存形式	解像度	1 データ辺りの容量	付属の SD カード (8GB) で撮れる目安
動画	AVI	720×576	1 分で約 30MB	約 3 時間
写真	JPEG	640×480	1 枚で約 100KB	約 70,000 枚

※付属の SD カード以外の物を使用する場合は、撮影前に動作確認をして下さい。

3.12 ACアダプタの使用

満タンに充電した内臓バッテリーを使用すれば、途中で充電することなく最大 7 時間の作業することができます。付属のアダプタを使用すれば、内臓バッテリーに充電しながら作業ができます。また、電源を切っている時には充電だけできます。

アダプタと接続部は、左側のカバーの後ろにあります。

必ず純正の AC 100V アダプタを使用してください。

それ以外のアダプタを使用すると故障の原因となります。



アダプタの接続端子を、カバーの後ろにある接続部に差し込んでから、アダプタを 100V のコンセントに接続します。作業を終了したら、カバーの後ろにアダプタを収納することができます。

3.13 ビデオ出力の使用

カービングキングは、映像信号がPALの為、国内のNTSCの機器には対応していません。映像を出力する場合、PAL 信号対応の機器をご使用下さい。

本機の右側のカバーの後ろに、ビデオ出力信号を送信するケーブル（BNC メスコネクタ）が取り付けられています。



3.14 LED の表示

アダプタを未使用の時

電源オン、充電 50%～100% (ゆっくりと点滅)



電源オン、充電 20%～49% (早い点滅)



電源オン、充電 10%～19% (赤い点滅)



電源オン、充電 0%～9% (点滅+警告音)



アダプタを使用した時

電源オン (常時緑点灯)



電源オフ、充電 100%以下 (黄点滅)



電源オフ、充電 100% (常時黄点灯)



エラー表示

修理に出してください (黄と緑が交互に点灯)



バッテリーに関する注意

1. バッテリーは消耗品であり、長期間使用すると稼働時間は短くなります。
2. 既定の電圧値よりも下回ると充電が行えなくなりますので、使用後に充電する事をおすすめします。
LED が赤点滅し、警告音になったら必ず充電を行ってください。
3. **残量 0%の状態 (過放電) で放置しない**ようにして下さい。劣化の原因になります。しばらく使用しない場合定期的に充電し、残量 30~50%の状態 で保存するようにして下さい。
4. **満充電 (残量 100%の状態) で保存しない**で下さい。AC アダプタを接続したまま放置すると、「満充電保存」と呼ばれる状態になり劣化の原因になります。
5. リチウムイオン電池の最高許容周辺温度は約 45℃です。 **直射日光、車内、暖房器具の前等に放置しない**で下さい。

4. 点検修理

機材は常に清潔に保管することで、誤動作の可能性が減少します。カメラや可動部に汚れなどの異物が付着しないように注意してください。湿った布やブラシで掃除することをおすすめします。画面を傷つける恐れがありますので、こすらないでください。

カメラヘッド及びケーブル部は防水構造ですが本体は防水構造ではありません。洗浄機で洗ったり、水を吹き付けたりしないでください。機材を使用していない時は、乾燥した換気のよい場所に保管してください。バッテリーの充電がほとんど空の状態でも長時間保管するとバッテリーの寿命が短くなってしまう可能性がありますので、避けてください。(3.14 LED の表示参照)

本機の点検や修理については、お買い求めの販売店までお問い合わせ下さい。認定された修理センター以外で修理や調整をすると保証が効かなくなりますのでご注意ください。

4.1 トラブルシューティング

画像にノイズが入る。

発信器の電源が入っているかどうかを確認して下さい。必要に応じて発信器の電源を切ってください。

システムが起動しない。

バッテリーの充電切れの可能性があります。アダプタを電源コンセントに差し込んで下さい。

カメラが曲管部に入っていない。

付属のシリコングリスをカメラ後部の屈曲部に塗って滑りを良くして下さい。

システムが動作しない

DVR/ディスプレイを立てコントロールパネルの右上あたりを触ると凹みがあります。隠しリセットボタンを押して下さい。



5. 仕様

カメラヘッド

表面材質: ステンレススチール
直 径: 19.5mm
長 さ: 23mm
視 野 角: 対角 105°
レ ン ズ: $f = 2.1\text{mm} / F10.0$
フォーカス: 固定
ガ ラ ス: サファイアクリスタル 1 mm 厚
カ メ ラ: カラー CMOS 400TVL
感 度: 1 ルクス
照 明: 高出力 LED 白色 × 12 (光量 20 段階)
発 信 器: 512 Hz
防 水 性: 3bar=0.3MPa

本体

外形寸法: 395 mm x 470 mm x 107 mm
質量(DVR ユニット含む): 8.6 kg
バッテリー動作時間: 最大 7 時間
バッテリー充電時間: 4~5 時間

電 源: 100V AC
動作温度: -10°C~45°C
保管温度: -10°C~60°C
言語表示: 英語/オランダ語/ドイツ語/フランス語

ケーブル: コンビケーブル Ø5.5mm 20 m

ディスプレイ付き DVR (デジタルビデオレコーダー)

ディスプレイサイズ: 5.6 インチ カラー
ディスプレイ解像度: 640x480 ピクセル
録画解像度: 720x576 ピクセル
記録媒体: SD カード/SDHC カード

このマニュアルにある、すべての仕様、設計、説明及びイラストなどの内容は、製品の仕様変更などの理由により、予告なく変更される場合があります。当社は事前の予告なく変更する権利を留保します。



● 本社

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 1-3
ヨシヤ日本橋ビル 8 階

TEL : 03-5962-3240 FAX : 03-5962-3241

● 松戸テクニカルセンター

〒271-0065 千葉県松戸市南花島向町 315-5

TEL : 047-308-3632 FAX : 047-331-5073

● 東京営業所

〒271-0065 千葉県松戸市南花島向町 315-5

TEL : 047 -308-3633 FAX : 047-308-3634

● 大阪営業所

〒536-0007 大阪府大阪市城東区成育 1-6-26

TEL : 06-7711-3470 FAX : 06-7711-3474

● 名古屋営業所

〒452-0822 愛知県名古屋市西区中小田井 2-486

TEL : 052-504-2321 FAX : 052-504-3614

● 北海道営業所

〒004-0031 北海道札幌市厚別区上野幌一条
4 丁目 1-3

TEL : 011-801-8881 FAX : 011-896-8885

● 九州営業所

〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南 5-26-13

サンコー博多駅南 101

TEL : 092-474-4768 FAX : 092-474-4769